

# 震災から身を守るために

## ＜聴覚障害者並びにサポートする皆さまへ＞



愛媛県社会福祉事業団

愛媛県視聴覚福祉センター

### 障害者の皆さまへ

- ☆日頃から地域とのつながりを大切にしましょう。
- ☆家具や家電の転倒防止対策をしましょう。
- ☆非常用持ち出し品を備えておきましょう。
- ☆災害時は、慌てず身の安全を確保しましょう。
- ☆震災後は、携帯電話、笛、会話カード等で周囲の人に支援を求めましょう。

### 障害者をサポートする皆さまへ

- ☆聴覚障害者は、耳から情報が入らないため適切な行動が取れない場合があります。
- ☆地震の際、屋内なら机等の下へ、屋外なら頭をかばい身を伏せるようメモや身振り手振りで教えてください。
- ☆揺れがおさまったらメモなどで状況を伝えて一緒に避難をお願いします。
- ☆避難所では、放送など耳からの情報を知らせてください。

# 【日頃の対策】

## 1 地域とのつながり

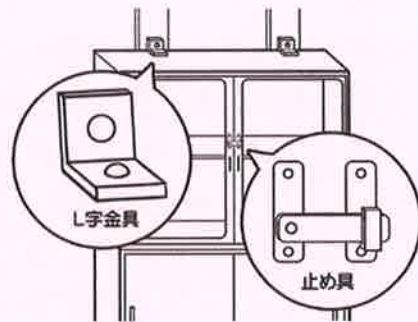
- ①地域の方の支援が受けられる関係を築きましょう。
- ②防災のための地域活動に積極的に参加し、自治会、民生委員、自主防災組織などにも支援が必要であることと、支援内容を理解してもらいましょう。
- ③地元の防災訓練に参加し、避難する場所や経路、方法を複数確認しておきましょう。
- ④交番や市役所、病院など災害時に支援の受けられそうな場所のメンタルマップを作成しておきましょう。
- ⑤日頃から地域の障害者団体や社会福祉協議会、障害者施設等を利用したり市町の要援護者名簿に登録することをお勧めします。



## 2 住まいの対策

### ①家具・家電製品の固定

大きな家具類や家電製品は市販の固定金具を使って固定し、観音開きの戸や引き出しは、ストッパーなどを取り付けましょう。(自治体によっては、補助制度があります。)

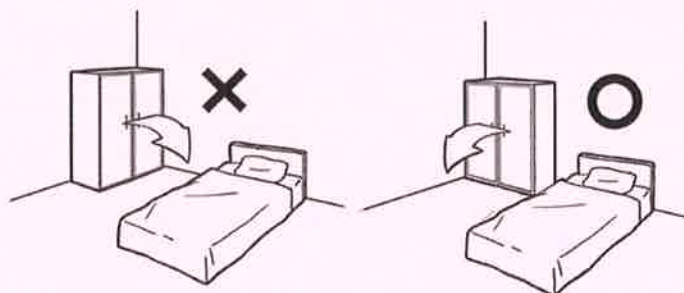


### ②ガラスの飛散防止対策

ガラス飛散防止フィルムを貼ったり、ガラスを透明なアクリル板に換えると安全です。

### ③収納の工夫や整理整頓

- タンスなどに収納する場合は、重い物は下部に、軽い物を上部に入れるなどの工夫をし、扉を止め金具で固定しましょう。
- 災害時の避難通路を想定し、その通路の安全を確認しておきましょう。
- 家の出入り口を整理整頓し、避難の妨げになるようなものは置かないようにしましょう。特に、寝室では、頭のほうに倒れてこないよう家具類の配置を工夫し、不要な物は置かずに、安全な空間を作りましょう。
- タンスなどの上には、重い物や落ちてくると危険なものを置かないようにし、棚の上のものが落下しないよう固定しましょう。

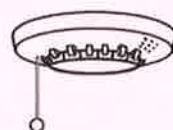


#### ④火災報知器の設置

光や臭で知らせる火災報知器を設置しておきましょう。

(福祉機器専門店で購入できます。)

(住宅用火災報知器は、日常生活用具給付対象です。)



### 3 聴覚障害のある方用持出必需品

非常持ち出し品(チェックリスト)と一緒に一定の持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

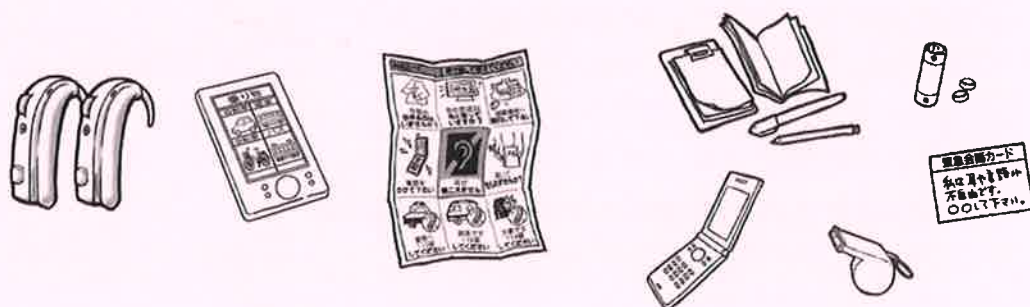
①補聴器、緊急連絡表、筆談に必要なメモ、筆記用具

②補聴器や専用機器の電池

③障害者手帳(写)、保険証(写)、持病のための薬及びお薬手帳や処方箋

④携帯電話、笛やブザー等、自分が助けを求めたり、安全を確保するために必要な物

⑤災害時に利用できる「緊急会話(SOS)カード」を用意しておくことも、周囲の人に支援を求める場合に大変役立ちます。



#### <緊急会話(SOS)カードの文面例>

「私は、耳や言語が不自由です。緊急避難場所に案内してください。」

「何を放送しているかメモで教えてください。」など

### 4 身体障害者補助犬(聴導犬)を使用している方

○ドッグフードは、必ず多めに買い置きをしましょう。

○フィラリア症予防薬は冷暗所などに保管しておきましょう。

○かかりつけの動物病院や給付団体の連絡先と併せて、かかりつけ以外の動物病院や各補助犬協会の連絡先も把握しておきましょう。



# 【災害時の対応】

## 1 身の安全を守る

- ①地震がおきたら、落下物などでけがをする恐れがあるので、あわてて外へ飛び出さないようにします。丈夫なテーブルなどの下に身を伏せ、落下物から身体を守るようにしましょう。
- ②建物内に閉じ込められるなど動けなくなった場合は、笛や携帯用ブザー、あるいは物をたたいて自分の居場所を知らせ、助けを求めましょう。



- ③正確な情報を得ることが大切です。テレビ、インターネット、メール携帯電話や隣近所の人から情報を収集するようにしましょう。

## 2 安全な避難

- ①揺れがおさまったら、近くにいる人に聴覚障害者であることを伝え、必要な援助を依頼し、避難誘導をしてもらいましょう。(災害用意思表示バンダナ・SOSカード等で耳が不自由なことを知らせる工夫をしましょう。)
- ②行政の広報などで避難の呼びかけがあったときは、必ず伝えてもらうよう隣近所の人に頼んでおき、一緒に避難しましょう。



災害用意思表示バンダナ

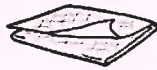
## 3 津波から身を守る

- ①津波警報や注意報が出た場合には、すぐに高台に避難しましょう。
- ②津波は、スピードが速く、繰り返し襲ってくるので注意が必要です。
- ③テレビ、ラジオなどで正しい情報を確認しましょう。



# 【非常持ち出し品チェックリスト】

食料品3日分



携帯保温シート



非常食



ロープ



布製ガムテープ



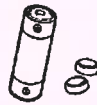
一人あたり1日  
3ℓの水を3日分



ラジオ



懐中電灯



予備電池



携帯電話



ビニール袋



マッチ・  
ライター



ティッシュペーパー・  
トイレペーパー



ナイフ・  
缶切り



スプーン・箸・  
カップ



ヘルメット・  
頭巾



下着・くつした



救急薬品・  
常備薬



現金



タオル



保険証・障  
害者手帳写



雨具



毛布又は寝袋



リュックサック



手袋・スリッパ



ふえ・ブザー



補聴器



意思表示  
バンダナ



筆記用具



SOSカード



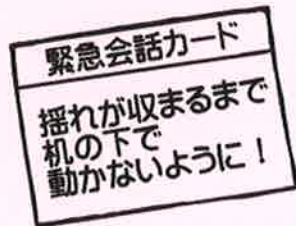
携帯用会話  
補助装置

※家庭での食料や水の備蓄は7日分程度を目標として、そのうち非常持ち出し用として3日分を準備

# 【聴覚障害者をサポートする方へ】

## 1 安全確保

地震がおきたら、すぐに、手話、メモや手振り身振りや「緊急会話カード」などで、机の下にもぐることを指示してください。



## 2 情報の伝達方法

- ① 正確に情報を伝えることが必要です。
- ② 聴覚障害者は背後の様子をとらえにくいので、相手の視野に入るところで合図をしてください。
- ③ 正面から口を大きく動かし、ゆっくりと話せば理解できる人もいます。
- ④ 聴覚障害者のコミュニケーションは、それぞれ異なるため、手話、筆談、身振り、絵、図などを用いて、その人にあった方法で伝えてください。



■手話■



■筆談■



■身振り・手振り■



■口話・読唇■

### 3 支援にあたって

- ①災害用意思表示バンダナ等で聴覚障害者に手話ができる支援者とわかる工夫をお願いします。
- ②地震がおさまったら、安否を確認するとともに情報が正確に伝わっているかどうかを確認してください。
- ③口話によるコミュニケーションが不自由な障害者に援助を求められたら、相手の言葉をていねいに聞き取るようにしてください。聞き取りが困難な場合は、筆談（メモ書き）を行ってください。
- ④電話などの代理を求められたら協力してください。



災害用意思表示バンダナ



#### 《災害用意思表示バンダナ・SOSカード》

愛媛県手話サークル連絡協議会が、災害時の聴覚障害者支援対策として、県の「三浦 保」愛基金の助成を受けて作製しています。

意思表示バンダナ 「耳が不自由」で支援が必要であること、「手話ができる」支援者であることが一目で判別できるバンダナです。

SOSカード 緊急時に伝えたい内容をイラストと文章で記載した折りたたみのカードです。

# 【災害時情報連絡先】

## 1 行政関係

愛媛県防災メール等、登録しておくことで携帯電話などに情報が配信されるサービスがあります。愛媛県または各市町にお問い合わせください。

愛媛県防災メール <http://www.pref.ehime.jp/bosai/bosaimail.html>

## 2 ライフライン関係

四国電力(大規模災害時停電情報:愛媛県)

フリーダイヤル 0120-459-272

携帯サイト <http://www.yonden.co.jp/m/>

## 3 災害時伝言ダイヤル(各社、近くの窓口で確認できます。)

①NTT西日本 ホームページ <http://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

②NTTドコモ ホームページ

<http://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/index.html>

③au ホームページ

[http://www.au.kddi.com/notice/saigai\\_dengon/index.html](http://www.au.kddi.com/notice/saigai_dengon/index.html)

④SoftBank ホームページ

<http://mb.softbank.jp/mb/service/dengon/index.html>

## 4 防災ポータルサイト

四国の防災に関する各種情報へのリンク集

ホームページ <http://www.bousai459.jp/>

発行 2013年8月

愛媛県社会福祉事業団 愛媛県視聴覚福祉センター

〒790-0811

愛媛県松山市本町6丁目11番5号

電話 089-923-9093

FAX 089-923-9224

URL <http://www.sityoukaku.pref.ehime.jp/>